



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年7月29日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3316 URL <https://www.tcs-net.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉丸 弘二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 赤木 正人 (TEL) 03-3280-2711  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,369	△32.0	19	△75.9	19	△75.1	12	△76.0
2020年3月期第1四半期	2,015	10.8	78	11.6	79	9.9	53	1.4

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	2.04	—
2020年3月期第1四半期	8.51	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,695	3,202	68.2
2020年3月期	5,709	3,295	57.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,202百万円 2020年3月期 3,295百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

## 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,930	△9.8	300	△46.9	300	△47.6	200	△48.9	31.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	6,300,000株	2020年3月期	6,300,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	24,015株	2020年3月期	24,015株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	6,275,985株	2020年3月期1Q	6,272,425株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、雇用情勢が悪化するとともに企業の設備投資も弱含みとなるなど、厳しい状況で推移いたしました。また、5月25日に緊急事態宣言が解除されましたが、依然として経済活動の自粛が続いており、未だ世界的にも新型コロナウイルス感染症の脅威は予断を許さない状況となっております。

当社の属するIT業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、各産業分野での業績への影響懸念が強まり、顧客企業のIT投資計画の見直しや先送り等により、厳しい状況となっております。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の影響はIT市場にマイナス効果を及ぼすものの、テレワークを始めとした働き方改革が浸透し、これに対応するソリューションへの需要は高まってきております。この傾向は、新型コロナウイルス感染症収束後も進展していくものと想定され、働き方に対するDX(デジタルトランスフォーメーション)投資の拡大が見込まれ、新たなビジネスチャンスが創出されており、IT技術の発展や利用はさらに加速化するものと認識しております。

当社は、このような事業環境の中、「最も安心してITインフラを任せられる企業」を企業ビジョンと定め、顧客価値を創造するため、「顧客を深く理解すること」「最適なIT資源を提供すること」「最新の技術経験を提供すること」「最新の製品を提供していくこと」を行動指針とし、マネージドサービスカンパニーとして顧客の持続的成長を支援するベストパートナーを目指し、①マネージドサービスカンパニーとしての認知度向上、②ロイヤリティの高い顧客関係の構築、③顧客ニーズにマッチしたマネージドサービスの提供を基本戦略とした営業活動を行ってまいりました。

当社が提供するマネージドサービスは、顧客企業の情報資産の管理や運用・監視業務にとどまらず、「ITを駆使して、“し続ける。”」をコンセプトとし、「業務の不満・不便・不足の解消」と「新たな価値の創造」を永続的に提供することで、顧客企業の「コア業務への集中」「さらなる業務効率化」「生産性の向上」を約束するアウトソーシングサービスとして展開してまいりました。また、顧客企業の成長への次の「一手」を支える統合型マネージドサービス「ITte」を展開してまいりました。

このような環境の中、当社におきましては、顧客及び従業員の安全配慮を第一と考え、新型コロナウイルス感染症防止のため、従業員に対してマスク着用の徹底、手洗い・アルコール消毒の励行やテレワーク、時差出勤など働き方の見直しに取り組んでまいりました。営業活動においては、WEB会議システムを活用したデジタル営業を展開してまいりましたが、受注獲得は思うように進まず、また納入状況も納期遅延が発生するなど、厳しい状況で推移いたしました。

当第1四半期累計期間におきましては、データセンターなどのマネージドサービス事業は堅調に推移し、また販売費及び一般管理費の削減に努めて参りましたが、新型コロナウイルスの感染症拡大影響により、顧客のIT投資に対する見直し(延期、縮小、中止)から、ハードウェア、ソフトウェア、導入支援サービスといったフロー案件の受注が減少し、減収減益となりました。

この結果、当社の当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高1,369百万円(前年同四半期比645百万円減、32.0%減)、営業利益19百万円(前年同四半期比59百万円減、75.9%減)、経常利益19百万円(前年同四半期比59百万円減、75.1%減)、四半期純利益12百万円(前年同四半期比40百万円減、76.0%減)となりました。

また、受注状況につきましては、受注高は1,480百万円(前年同四半期は2,353百万円)、受注残高は629百万円(前年同四半期は749百万円、前事業年度末は518百万円)となりました。

なお、当社は「情報システム関連事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末の総資産は4,695百万円となり、前事業年度末に比べ1,014百万円減少しております。これは、主に受取手形及び売掛金が当第1四半期累計期間における売上高の減少及び前事業年度末における売掛金残高の回収等により1,242百万円減少し、現金及び預金が227百万円増加したことによるものであります。負債については1,492百万円となり、前事業年度末に比べ922百万円減少しております。これは、主に売上高減少に伴う仕入債務の減少や前事業年度末における債務残高の支払い等により、買掛金が864百万円減少、未払法人税等が103百万円減少及び賞与引当金が49百万円減少したことによるものであります。純資産については3,202百万円となり、前事業年度末に比べ92百万円減少しております。これは、主に四半期純利益の計上が12百万円ありましたが、配当金の支払いが119百万円あったことにより、利益剰余金が106百万円減少及びその他有価証券評価差額が14百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言は解除されましたが、依然予断を許さない状況が続いております。現時点では将来の動向・回復度合いの予測が難しいものの、2020年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。本業績予想は、新型コロナウイルスの影響が2020年9月迄続いた場合を想定し、見積もったものであり、新型コロナウイルスの影響が10月以降も続く場合や回復度合いなどによって、業績が変動する可能性があります。その場合には、改めてその影響を見積り、業績予想修正を公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,098,343	2,325,354
受取手形及び売掛金	2,042,419	800,344
電子記録債権	22,594	67,800
商品	51,218	61,049
仕掛品	4,685	3,526
貯蔵品	493	553
その他	354,879	339,656
貸倒引当金	△208	△87
流動資産合計	4,574,427	3,598,198
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	48,856	47,714
工具、器具及び備品（純額）	732,878	685,607
建設仮勘定	1,848	9,219
有形固定資産合計	783,582	742,541
無形固定資産	48,904	44,182
投資その他の資産		
投資有価証券	93,514	114,089
その他	230,448	217,478
貸倒引当金	△21,236	△21,249
投資その他の資産合計	302,727	310,318
固定資産合計	1,135,214	1,097,042
資産合計	5,709,641	4,695,241
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,324,296	459,778
未払法人税等	108,406	5,009
賞与引当金	94,680	44,700
その他	547,599	643,184
流動負債合計	2,074,982	1,152,672
固定負債		
退職給付引当金	328,671	328,766
その他	10,900	10,900
固定負債合計	339,571	339,666
負債合計	2,414,553	1,492,339
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	1,971,417	1,864,955
自己株式	△22,970	△22,970
株主資本合計	3,263,427	3,156,965
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,660	45,935
評価・換算差額等合計	31,660	45,935
純資産合計	3,295,088	3,202,901
負債純資産合計	5,709,641	4,695,241

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,015,285	1,369,424
売上原価	1,712,734	1,141,745
売上総利益	302,551	227,679
販売費及び一般管理費	223,574	208,664
営業利益	78,976	19,015
営業外収益		
受取利息	25	21
受取配当金	619	611
その他	35	136
営業外収益合計	679	769
営業外費用		
雑損失	45	—
営業外費用合計	45	—
経常利益	79,610	19,784
特別損失		
固定資産除売却損	351	0
特別損失合計	351	0
税引前四半期純利益	79,258	19,784
法人税、住民税及び事業税	769	768
法人税等調整額	25,133	6,233
法人税等合計	25,903	7,002
四半期純利益	53,355	12,781

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響は、緊急事態宣言は解除されたものの、未だ予断を許さない状況が続いており、先行きを見通すことは困難ではありますが、会計上の見積りにあたって利用した事業計画等は、新型コロナウイルス感染症の影響が2020年9月まで続いた場合を想定しております。

(セグメント情報)

当社は、情報システム関連事業を主要な事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。